

<白金標準、WPIC 第 4 四半期 PGM 需給報告待ち・・・>



(出所：オアシス)

南アフリカの第 4 位のプラチナ鉱山であるノーザム・プラチナ CEO は「世界トップのプラチナ供給国である南アフリカのプラチナ鉱山は価格急落の中で過去 30 年間で最悪の危機に巻き込まれている」と述べ、特に価格低迷の理由に中国の経済成長の鈍化とロシアのウクライナ侵攻時に在庫を積み増したメーカーによる在庫調整を理由に挙げている。

そのためアングロ・アメリカン・プラチナは 3700 人の雇用を削減する予定であると発表し、シバニエ・スティールウォーターも約 2,600 人を解雇している。インパラ・プラチナは価格が改善しない場合、6 ヶ月以内に赤字の立坑を閉鎖することを決定する可能性があるなどと述べるなど、2024 年の供給量は期待できない状況である。

特に今週 6 日には WPIC 第 4 四半期 PGM 需給報告が予定され、前回の報告で 2023 年の 33 トンの供給不足、2024 年の 11 トンの供給不足予想と 2 年連続の供給不足を示唆しており、供給不足が拡大するようであれば下げ過ぎた見直しが始まると思われ、4250 円で抵抗を示している白金標準先物は再度 4400 円へ向けた戻りを示す可能性は強まると思われる。

<テクニカル>

白金標準先物の日足を MACD と RCI で見た場合は、MACD では **MACD** が下げ渋り、**シグナル** は切り下げている。RCI でも **短期** は切り上げながら **長期** は下げている。特に 3 本の移動平均線が重なり、日足が上回る動きを見せるなど **4320 円** を超えると戻りが強まると思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行ってください。売買の判断はお客様御自身で行ってください。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,390,000 円(2024 年 3 月 4 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2024 年 3 月 4 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当日本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>